

## 第1回総合部会意見への対応方針

**意見書様式（修正文案用）**  
**（新たな振興計画（素案）に対する意見）**

							総合部会
番号	章	頁	行	新たな振興計画（素案）本文	修正文案等	理由等	審議結果（案）
1	1章	P1	8行	他方、自立型経済の構築はなお道半ばにあり、自立的な経済発展のメカニズムが構築されないままで、一人当たり県民所得は、本土復帰以降、全国最下位の水準を脱しきれていない。	他方、 <u>好調な経済状況が県民生活の向上にまで十分には行き渡っておらず</u> 、自立型経済の構築はなお道半ばにあり、自立的な経済発展のメカニズムが構築されないままで、一人当たり県民所得は、本土復帰以降、全国最下位の水準を脱しきれていない。	自立型経済や経済発展のメカニズムの始動に係る表記について、読み手にとって分かりやすくなるよう、具体例や理由などを加えてはどうか	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
2	1章	P1	11行	□「沖縄21世紀ビジョン基本計画」（平成24年5月）の期間中、成長著しいアジアに隣接する本県においては、アジアのダイナミズムを取り込んだ経済発展のメカニズムが始動する兆しも見られた	□「沖縄21世紀ビジョン基本計画」（平成24年5月）の期間中、成長著しいアジアに隣接する本県においては、 <u>景況や成長率等において全国を上回るまでに至り</u> 、アジアのダイナミズムを取り込んだ経済発展のメカニズムが始動する兆しも見られた。	自立型経済や経済発展のメカニズムの始動に係る表記について、読み手にとって分かりやすくなるよう、具体例や理由などを加えてはどうか	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
3	1章	P1	31行	▷ 我が国でも稀な亜熱帯海洋性気候による特殊病害虫の存在や塩害、台風の常襲地帯ということ等の「自然的事情」	-	南西諸島に属する県として、温暖な気候や多様な動植物の分布は強みとも言えるのではないか。	【原文どおり】 該当箇所での記載は、沖縄振興特別措置法の根拠となる4つの特殊事情を定義しており、温暖な気候や多様な動植物の分布等については、11頁の「(4)亜熱帯・海洋性の自然的特性」に記載している。
4	1章	P3	5行	アジア諸国の経済発展を背景として、沖縄経済は地理的優位性を生かし、インバウンド、物流、外国資本の流入等が進んだ。	アジア諸国の経済発展を背景として、沖縄経済は地理的優位性を生かし、インバウンド、 <u>物流</u> や外国資本の流入等が進んだ。	インバウンドと外国資本はよいが、物流の流入という語はおかしい。また、物流も航空・海運なのか、ボリュームなのかもはっきりさせたほうがよい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
5	1章	P5	1行	「沖縄21世紀ビジョン」の将来像の実現に向けた行動計画であり、SDGsの達成に寄与する性格を有する。		「寄与」と「貢献」と同じ意味の語が使われているので、統一してはどうか。	【検討中】 「寄与」は支援を与えること、「貢献」は貢ぎ物を献げることで、ニュアンスの違いがあるとされている。今後、統一的なルールの下で使い分けるよう整理したい。
6	2章	P6	25行	□ SDGsは、グローバル資本主義の中で構築されてきた現代の企業経営モデル等の根幹を揺るがす発想の転換（パラダイムシフト）をもたらすものである。	□ SDGsは、グローバル資本主義の中で構築されてきた現代の企業経営モデル等の根幹を揺るがす <u>枠組み</u> の転換（パラダイムシフト）をもたらすものである。	「発想の転換（パラダイムシフト）」について、構造の転換や枠組みの転換としてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

							総 合 部 会
番号	章	頁	行	新たな振興計画（素案）本文	修正文案等	理 由 等	審 議 結 果（案）
6	4章	P146	1行	□ 交通施設の整備には一定の期間が必要となることから、需要追従で整備するのではなく、需要の変動に柔軟に対応できる交通機関の構築と、既存ストックで賄える需要を適宜マネジメントしていくことも求められる。 このような陸上交通における発想の転換(パラダイムシフト)を図り、	□ 交通施設の整備には一定の期間が必要となることから、需要追従で整備するのではなく、需要の変動に柔軟に対応できる交通機関の構築と、既存ストックで賄える需要を適宜マネジメントしていくことも求められる。 このような陸上交通における <b>枠組み</b> の転換(パラダイムシフト)を図り、	「発想の転換(パラダイムシフト)」について、構造の転換や枠組みの転換としてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
7	2章	P6	24行	【追加】	<b>□ SDGsを掲げた「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」(以下、「2030アジェンダ」)が、平成27年9月の国連総会において採択された。 2030アジェンダは、国際社会全体が人間活動に伴い引き起こされる諸問題を喫緊の課題として認識し、協働して解決に向けて取り組んでいく決意を表明した合意であり、その中核として国際社会全体の普遍的な目標としてのあるべき姿を示したものがSDGsである。</b>	6ページSDGsの展開について、企業構造など企業、経済に偏った記述になっているので、もう少し膨らみのあるSDGsの記述にしてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
8	2章	P8	24行	□ ただし、アジア・太平洋地域において高成長が続くとの予測については、新型コロナウイルス感染症の拡大前の予測であり、その後のトレンドを見定める必要がある。	□ ただし、アジア・太平洋地域において高成長が続くとの予測については、新型コロナウイルス感染症の拡大前の予測であり、その後のトレンド <b>や米中関係による様々な構造的変化の影響等</b> を見定める必要がある。	米中対立の構図が10年前と変わってきており、観光客や経済面でリスクとなる可能性があるため、その認識について記載してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
9	2章	P9	4行	□ こうした今後の人口の動向を背景に、県内の各分野において労働力不足が懸念されている。	□ こうした今後の人口の動向を背景に、県内の各分野において労働力不足が <b>懸念されるとともに、介護など超高齢社会が直面する様々な課題への対応が求められる。</b>	高齢化社会への突入に係る視点が、労働力の減少に留まっているように感じる。高齢者が増えると介護など様々な問題が出てくるため、高齢化社会への対応に係る記載を盛り込んでどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
10	2章	P11	18行	こうした構造的な特徴を踏まえつつ、本県は地理的優位性やソフトパワー等の比較優位を生かした産業構造を構築する必要がある。	こうした構造的な特徴を踏まえつつ、本県は <b>東アジアの中心に位置する</b> 地理的優位性やソフトパワー等の比較優位を生かした産業構造を構築する必要がある。	地理的優位性の前に「本県は東アジアの中心に位置する」という優位性の内容を明記してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

							総 合 部 会
番号	章	頁	行	新たな振興計画（素案）本文	修正文案等	理 由 等	審 議 結 果（案）
11	2章	P12	34行	【追加】	<u>口ものづくり産業や農林水産業等の地域産業においても、技術進歩による産業の高度化と付加価値の向上を図り、地域全体として経済の筋力・体力を底上げしていくことが大きな課題である。</u>	元々ある地場産業の低迷や衰退に対してどう取り組むのかがあまり書かれていないため、生産性の高い産業のみならず地場産業においても、先端技術の活用などの新しい動きの中にしっかりと取り込んでいくことを記載してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
12	2章	P17	21行	島しょ県特有の閉鎖的な立地条件や域内需要が限定的な小規模離島の存在など脱炭素社会の実現に向けた先行モデル地域として、国方針を踏まえ積極的に貢献していくことが可能である。	島しょ県特有の閉鎖的な立地条件や域内需要が限定的な小規模離島の存在など、脱炭素社会の実現に向けた先行モデル地域として、国方針を踏まえ積極的に貢献していくことが可能である。 <u>また、島しょ地域特有の共通課題を持つハワイ州と沖縄県のクリーンエネルギー協力に関する覚書等の取組成果を広げていくことも可能である。</u>	沖縄ハワイクリーンエネルギー協力協定を踏まえてエネルギー政策を展開していることを追記してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
13	2章	P19	19行	シー・アンド・エア、ウォーターフロントのホテルや商業施設、MRO等を含めた航空関連産業クラスターの形成、～	-	シー・アンド・エアはビジネスモデルが作りにくく、実現可能なか疑問がある。「国際物流拠点化の形成」など包含できる表現にしてはどうか。	【検討中】 103頁3-(4)-ア において、「国際物流拠点の形成」への取り組みとして、シー・アンド・エアなど多様な輸送経路の確保により、国際物流ネットワークの機能を高めることとしており、産業部会での審議結果を待ちたい。
14	2章	P14	14行	【追加】	<u>本県は、島しょ地域という地域特性を有することから、こうした条件に適合した医療提供体制や公衆衛生体制の強化が必要である。</u>	新型コロナウイルス感染症を含め、島しょ地域ゆえに公衆衛生上の比較的特殊な課題にも直面していることから、島しょ地域としての公衆衛生上の体制づくりなど課題として記載してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
15	2章	P20	12行	本県は、我が国で唯一、基幹的な公共交通システムである鉄道を有していない。	-	鉄道を有していないことが鉄軌道導入の理由と捉えられてしまうため、削除してよいのではないか。その下の「県土の均衡ある発展」以降の文章だけでも十分ではないか。	【原文どおり】 公共交通の基幹軸として鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入の経緯や要因として触れておく必要がある。
16	2章	P21	6行	【追加】	<u>駐留軍用地の跡地利用に当たっては、返還前の早い段階からの立入調査や徹底した支障除去が重要である。</u>	駐留軍用地の環境汚染に係る立ち入り調査の実施についても、将来像実現に向けた課題と道筋で示してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

							総 合 部 会
番号	章	頁	行	新たな振興計画（素案）本文	修正文案等	理 由 等	審 議 結 果（案）
17	3章	P23	4行	本計画における施策展開に当たり、国、県、市町村、各種団体、県民など各主体が取組を推進する上での基本的指針として、「安全・安心で幸福が実感できる島」の形成を掲げる。	本計画における施策展開に当たり、 <b>本県を取り巻く時代潮流、地域特性、基本的課題を踏まえ</b> 、国、県、市町村、各種団体、県民など各主体が取組を推進する上での基本的指針として、「安全・安心で幸福が実感できる島」の形成を掲げる。	施策展開の基本的指針として「安全・安心で幸福が実感できる島」の形成を設定しているが、唐突感があるため、前段で記載のある時代潮流、地域特性、基本的課題等を踏まえて設定している旨を追記してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
18	4章	P68	7行	□ 男女共同参画の推進については、官民一体となり、男女が仕事と育児・介護等を両立できる環境の整備はもとより、女性が社会のあらゆる分野で活躍できるよう女性のスキルアップやネットワーク構築等に取り組む。	-	高齢者の介護は主に女性が担っており、今後、高齢化社会が更に進んで介護の人数が増えたときに、女性に高齢者の介護問題が多くのかかってくるのではないかと心配があるため、記載する必要があるか検討してほしい。	【原文どおり】 高齢者の介護については、「男女が仕事と育児・介護等を両立できる環境の整備はもとより、…に取り組む。」と記載しているところです。
19	4章	P68	10行	各種審議会への女性の登用促進や管理職への女性の積極的登用等に県が率先して取り組むほか、市町村等に対する働きかけや、男女共同参画の推進に向けた講座・講演会等の開催に取り組む。	各種審議会への女性の登用促進や管理職への女性の積極的登用等に県が率先して取り組むほか、 <b>男女共同参画の推進に向けた具体的な施策の策定や実施に関する市町村等への働きかけや、男女共同参画の推進に向けた講座・講演会等の開催に取り組む。</b>	市町村等に対する働きかけ」という表現は漠然としているので、「男女共同参画に関する具体的な施策の策定に対する働きかけ」に修正してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
20	4章	P68	12行	男女共同参画の推進に向けた講座・講演会等の開催に取り組む。	-	講座の多くがているを拠点にして展開されているため、「ているを拠点に」という文言を追加してはどうか。	【原文どおり】 男女共同参画の推進に向けた講座・講演会をはじめとする取組については、県が設置した沖縄県男女共同参画センターでの実施はもとより、市町村等における実施も促し、幅広く実施されるよう取り組んでいくこととしているため、原文どおりとしたい。
21	4章	P68		-	-	男女共同参画社会づくりの拠点である沖縄県男女共同参画センター「ている」の充実、強化を追加してはどうか。	【原文どおり】 本県の男女共同参画については、これまで沖縄県男女共同参画センターを中心に様々な事業を展開してきたところであり、今後の新たな計画期間においても、引き続き同センターを拠点として男女共同参画の推進に向けた事業の充実を図ると同時に、市町村等における事業実施も促し、幅広く実施されるよう取り組んでいくこととしているため、原文どおりとしたい。

							総 合 部 会
番号	章	頁	行	新たな振興計画（素案）本文	修正文案等	理 由 等	審 議 結 果（案）
22	4章	P68		-	-	近年の傾向として沖縄に外国人が増えていることから、外国人の生活のしやすさというのもこの施策の中に盛り込んではどうか。	【原文どおり】 在住外国人が住みやすい地域づくりについては、基本施策4-(2)-イ 多文化共生社会の構築の中で記載することとしています。
23	4章	P68	32行	複雑化・多様化する地域の課題を解決するため、企業、NPO等の多様な主体の参画と連携による様々な取組を推進し、その担い手となる人材を育成し、確保することで、企業・NPO等の活動の円滑化に取り組む。	複雑化・多様化する地域の課題を解決するため、企業、NPO、 <u>地域組織</u> 等の多様な主体の参画と連携による様々な取組を推進し、その担い手となる人材を育成し、確保することで、 <u>企業・NPO等の活動</u> の円滑化に取り組む。	「企業、NPO等の多様な主体」について、「地域組織との連携」を追記してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
24	4章	P69	12行	県と事業者等の間で、様々な分野において包括的連携協定の締結を促進し、	県と <u>企業・NPO</u> 等の間で、様々な分野において包括的連携協定の締結を促進し、	「NPO法人と公的な分野における協働の取組」と12行目「県と事業者等の間で」の記載があるが、書きぶりを統一してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。